

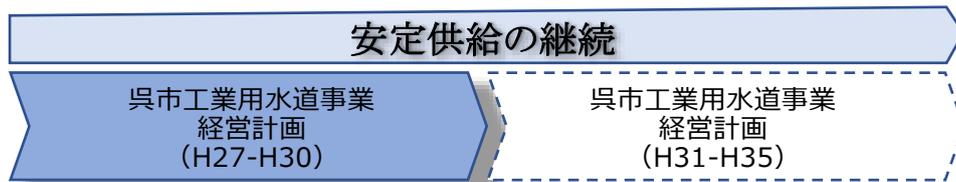
# 第1章 計画の趣旨と位置付け

## 1 趣旨と位置付け

「産業の血液」とも称される工業用水道は、企業にとっての生命線であり、決して欠かすことのできない産業基盤であることから、安定供給を継続することが工業用水道事業者にとっての使命となっています。

この使命を果たすため、呉市では平成 27 年 3 月に中長期的な視点に立った事業経営の指針となる「呉市工業用水道事業経営計画」（以下「現経営計画」といいます。）を策定しました。

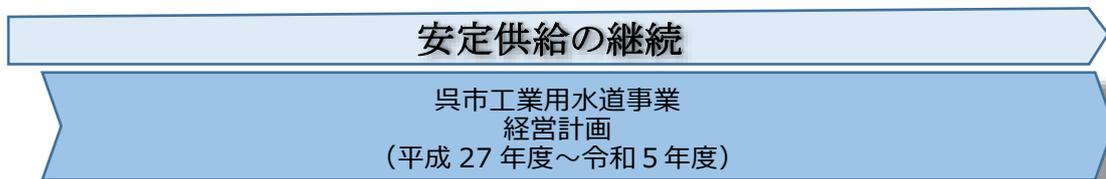
計画期間【当初】 平成 27 年度から平成 30 年度まで



※呉市工業用水道事業経営計画（H27-H30）は、呉市上下水道ビジョン前期経営計画の終期に合わせ、計画期間を設定しています。

当初計画は平成 30 年度で終了し、新たな 5 か年の経営計画を策定する予定でしたが平成 30 年 7 月豪雨災害の発生により、被災した工業用水道施設の復旧を優先するとともに、より中長期的な視点で事業経営を行うため、計画期間を令和 5 年度まで延長することとしました。

計画期間【改定】 平成 27 年度から令和 5 年度まで



※呉市工業用水道事業経営計画（平成 27 年度～令和 5 年度）は、呉市上下水道ビジョンの終期に合わせ、計画期間 9 年としています。

改定後は、被災した工業用水道施設の復旧を着実に実施するとともに、老朽化が進んでいた三坂地水源水を給水先ユーザーとの協議により廃止するなど、安定供給の継続と施設の最適化に全力で取り組んできました。

しかしながら、基本使用水量の約 4 割を占める大口ユーザーである日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所呉地区の全設備休止（令和 5 年 9 月）に伴い料金収入の減少が見込まれる中、施設の老朽化は進行し、自然災害は頻発化・激甚化するなど、工業用水道事業を取り巻く環境は厳しさを増しています。

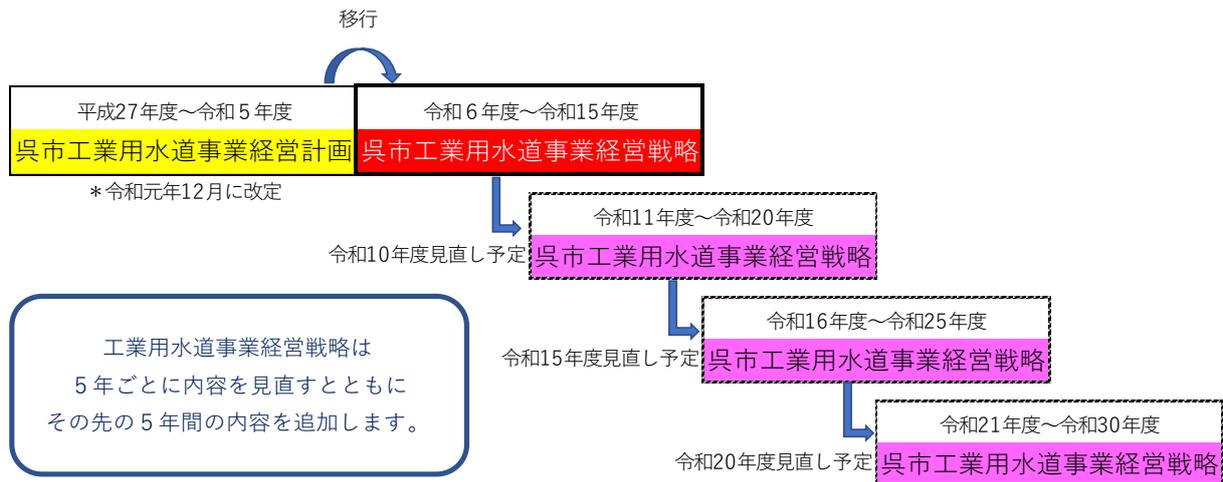
また、総務省は、各地方公営企業が安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画である経営戦略の策定を要請しています。

このような状況において、将来にわたり工業用水道の供給を安定的に持続し、取り巻く環境の変化にも的確に対応し、中長期的な視点に立った事業経営の指針とするための新たな経営計画として『呉市工業用水道事業経営戦略』（以下「経営戦略」といいます。）を策定したものです。

## 2 計画期間

経営戦略の計画期間は、令和6年度から令和15年度までの10年間とします。

経営戦略については、策定後5年ごとに見直しを行い、見直し時点から向こう10年間を新たな計画期間として改定します。ただし、5年以内に見直しが必要となるような大きな変化がある場合は、その都度見直すこととします。



## 呉市工業用水道事業経営戦略の位置付け

